

「分割・民営化」首切り・労力強化・大事故への 改定阻止

乗務員分科 第8回 定期委員会

日刊 動労千葉

85. 10. 7

No. 2057

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

十月一日〜二日、君津市・鹿野山センターで、委員・傍聴者二八名の出席のもと、第八回乗務員分科定期委員会が開催されました。

「61・3」「61・11」ダイ改へ 向け全力で闘う

議長に新小岩支部の山田委員を選出したあと、あいさつにたった西森分科会長は「本部方針に基づき、『分割・民営化』阻止の闘いを各職場から創り出さねばならない。当局は来年三月京葉線開業、車両運用合理化の『61・3』ダイ改と国鉄最後のダイ改としての『61・11』ダイ改の二つのダイ改で『分割・民営化』の道をつくらうとしている。この二つのダイ改に向け動労千葉の中核として闘う方針を確立してほしい」とのべた。

来賓の中野委員長より「いま、激動の嵐がわれわれの頭上にふきあれている。どこかの組合は、嵐は首をすくめて通りすぎるのを待てばよいと言ったが、答申は三人に一人の首切りを行おうとしている。去るも地獄、残るも地獄の中で、今秋を含め、職場からの闘いを構築し、ストライキで反撃しよう」とのあいさつをうけた。

学習・交流の強化、 10・20総決起を決定

渡辺副会長より経過、高橋・安西両執行委員よりそれぞれ一般会計・共済会計の報告をうけ、直ちに方針案の提起と質疑に入った。質疑では、
①定例訓練について、②雇用安定協約に関して、③「60・3」ダイ改の問題点、④列車無線、乗務員無線の取り扱いの問題点、⑤予備と過員についての対処方、⑥時間調整非番日について、⑦乗務員の事故を口実とした乗務停止、⑧ワッペン、



新しく会長に選出された
渡辺和志男氏（勝浦支部）

名札等、出され、交渉及び運動の中で全力で取り組むことを確認した。

つづいて方針を採択し、①全会員に動乗協定の知識を広める、②同協定改正要求の作成、③「60・3」ダイ改の反省を次期ダイ改に生かす、④部会の強化をはかる、⑤学習会・講習会の開催、⑥支部分科会の定期的職場集会の開催と支部分科会、⑦三里塚10・20に全力で取り組む、等を決定した。

新役員選出、渡辺新会長の団結ガンバローで終了した。

新役員

会 長	渡 辺 和志男	電運士	勝 浦
副 会 長	内 藤 潔	機関士	新小岩
事 務 長	高 橋 邦 彦	電運士	津田沼
執行委員	松 垣 充	成 田	
“	鈴木 貴 雅	“	銚 子
“	押 垂 正 彦	“	千 葉 転
“	富 川 吉 郎	電運士	木 更 津
“	阿 津 栄 作	電運士	幕 張
“	吉 田 稜 一	“	館 山
“	白 石 正 隆	電運士	木 更 津